

NPO:法人

くにたち
農園の会



KUNITACHI
NOUENNOKAI



くにたち



農園の会



GUIDE BOOK



団体紹介



NPO法人 くにたち農園の会

はじめに

理事長挨拶

私たちの実現したい未来



理事長挨拶

「だれもが気軽に参加できる農園をつくろう」

と、2013年に「くにたち はたけんぼ」を開園。当初は小さなコミュニティでしたが、今では「農体験」「子育て」の2本柱のもと、農園、古民家、ゲストハウス、シェアスペース、認定こども園と活動の幅が広がっています。



子どもたちが走り回り、生き物をつかまえ、ちょっと危ないことにも挑戦しながら思いのままに過ごせる場が少なくなってきたと感じます。

人類が経験したことのない圧倒的な少子高齢社会を私たちはどのように生き、次世代にバトンをわたすのか？ スケールの大きな課題だけではなく日々の小さな課題にも向き合いながら、地に足をつけて歩んできた結果「くにたち農園の会」は子育て世代を中心に様々な人々が集う場となりました。

これから5年10年20年と世の中がさらに変化していても、米や野菜、動物を育てて食し、子を育てる営みは変わらないでしょう。

ある日、大きな石のような課題が道をふさいだとしても日々の小さな協力や成功体験の積み重ねがあれば乗り越えられるように思います。

そんな寄り合い所としての「くにたち農園の会」を一緒に作っていきませんか？

特定非営利活動(NPO)法人
くにたち農園の会 理事長

小野 淳



私たちの実現したい未来



土に根差し 共に育つ たくましい地域を次世代へ
耕そう！遊ぼう！つかみ穫ろう！東京の田畑で育つ生きる力

都心から車で20分、中央高速道路国立府中インター直下の谷保地域に広がる田んぼと青い空。開放的で豊かな空間は、地域や子どもたちにとってはもちろんのこと、人が生きる上で大切な資源です。

身近な自然環境としての農地が存在することは、子どもたちの心身の成長、自尊心の向上を助けると共に、四季を感じさせる風景が地域住民を癒し、防災拠点などの活動の場としても大きな意義を持っています。

私たちの農園には、毎年7,000名を超える方々

が訪れ、子どもたちも大人も農に親しみ、そして思い切り遊び、時にはぶつかり合いながらも、日々共に成長しているのを目にし、感じています。

しかし、都市の農地は住宅に囲まれ、農業者の高齢化、相続税など一個人では到底変革しえない大きな課題を抱えています。国立市の農地も同じく、特に水田はこの30年で85%減少しており、今も住宅開発が進んでいるのが現状です。

この価値ある環境を活かし、子どもたちの成長を支援すると同時に、土や自然が豊かに残る地域を目指しています。



沿革 「くにたち農園の会」のあゆみ

わたしたち「くにたち農園の会」は、国立市の農業・農地を活かしたまちづくりに取り組む市民活動として2012年にスタートしました。農の営みによって守られてきた豊かな自然環境と文化を今の時代に合った形で生かし、「農体験」「子育て」を2本柱に田畑とつながる子育て支援、多様な人々への農や自然体験の提供に取り組んでいます。

国立市の歴史

豊かな水源に恵まれて、縄文時代から人々が集まり、農業を営んできた谷保村（現在の国立市谷保地域）。多々の湧水や多摩川から引き入れた水からなる府中用水や田んぼは、貴重な野生生物の棲家となり、そこに集まる野鳥などの生態系の基盤となっています。

また、稲作を中心とした農家の人々の営みが生態系を支え、そこには自然と人々が支えあう暮らしが息づいてきました。昭和初期以降は、一橋大学、国立音楽大学などが創立。1952年には国立市の前身である国立町が文教地区に制定され、自然と学園都市とが融合した独自の発展を遂げています。

〈国立市 年表〉

古墳時代	下谷保第一号墳 四家在家遺跡
平安時代	谷保天満宮建立(903年)
鎌倉時代	城山、都史跡三田氏館跡(津田三郎為守)
江戸時代	「本田本家」谷保に移住。(重要文化財「薬医門」)
大正時代	箱根土地(株)による100万坪開発はじまる
1926(昭和元年)	国立駅開業
1927(昭和2年)	東京商科大学(現一橋大学)専科移転
1951(昭和26年)	谷保村が国立町になる(町制施行)
1967(昭和42年)	国立町が国立市になる(市制施行)
2003(平成15年)	ママ下湧水群、常盤の清水、矢川緑地が「東京の名湧水57選」に選ばれる
2006(平成18年)	府中用水が全国疎水百選に選ばれる

参考：国立市観光ガイドマップ

縄文時代中期(紀元前4000年頃) 顔面把手付土器、緑川東遺跡出土の石棒などから、この頃から谷保に人々が定住していたとされる

古墳時代(4世紀末) 谷保に集落ができる。人々は農耕を中心に生活

江戸時代～明治時代 主な産業は農業・養蚕業。明治33(1900)年の記録では、谷保の人口の85%が養蚕業を営んでいた

1970～2010年頃 宅地開発により農地が減少。2010年には、国立市の田んぼの面積が1989年の4分の1に減少

2011年 国立市「農業・農地を活かしたまちづくり」事業協議会にて市民が運営する新しい農園モデルを検討

2012年 任意団体「くにたち市民協働型農園の会」設立

2013年 国立市「農業・農地を活かしたまちづくり」事業協議会にて市民が運営する新しい農園モデルを検討

2014年 「くにたちはたけんぼ」現在地に移転

2015年 「くにたちはたけんぼ」現在地に移転

2016年 特定非営利活動法人「くにたち農園の会」設立

2017年 古民家シェアスペース「やばろじ」に入居

2018年 国立市地域子育て支援拠点事業を国立市より受託。「つちのこひろば」開始

2019年 学生団体「たまこまち」と協働で、ゲストハウス「ここたまや」の民泊事業開始

2020年 認定こども園「国立富士見台団地風の子」開設

2021年 子どもの第3の居場所「フリースペースはたけんぼ」事業開始

所蔵：くにたち郷土文化館

所蔵：国立市



「くにたちはたけんぼ」
絵：ふくふくちえ
(2015)

「くにたち農園の会」概要

名称：特定非営利活動(NPO)法人 くにたち農園の会
本部事務局：〒186-0011 東京都国立市谷保5119(やばろじ内)
設立時期：特定非営利活動法人内閣府認証取得 2016年12月2日
登記完了：法人設立 2016年12月15日
理事長：小野 淳 副理事長：佐藤有里、武藤芳輝
理事：5名、 監事：1名、 会員：125名(2023年3月現在)
事業所：計5カ所

2017年 (公社)程ヶ谷基金「平成29年度男女共同参画・少子化関連顕彰事業活動賞」受賞。

2020年 多摩信用金庫「多摩ブルーグリーン賞たまみらい賞」受賞

2021年 農林水産省関東農政局「ディスカバー農山漁村の宝」優良事例認定

2022年 しんきん圏央道アライアンス、圏央道の宝物グランプリ

2022-2023 準グランプリ

受賞歴

2014年 ●「くにたちはたけんぼ」現在地に移転
●リトルハウスとふれあう会「くにたち馬飼舎」受入

2015年 ●「くにたちはたけんぼ」現在地に移転
●森のようちえん「谷保のそらっこ」開始
●年間親子田んぼ体験開始

2016年 ●特定非営利活動法人「くにたち農園の会」設立

2017年 ●古民家シェアスペース「やばろじ」に入居
●田畑とつながる子育て古民家「つちのこや」「つちのこ食堂」開設

2018年 ●国立市地域子育て支援拠点事業を国立市より受託。「つちのこひろば」開始

2019年 ●学生団体「たまこまち」と協働で、ゲストハウス「ここたまや」の民泊事業開始
●都市農地賃借円滑化により水田が拡大
●「お蚕フレンズプロジェクト」開始

2020年 ●認定こども園「国立富士見台団地風の子」開設
●コミュニティ菜園「みんな畑」、レンタルスペース「畑の家」開設
●新型コロナウイルスによる自宅待機期間中、平日午前中「くにたちはたけんぼ」を「おるすばんクラブ」として開放

2021年 ●子どもの第3の居場所「フリースペースはたけんぼ」事業開始

コミュニティ農園「くにたちはたけんぼ」開園

- 森のようちえん「谷保のそらっこ」開始
- 年間親子田んぼ体験開始



主な助成・交付金実績一覧

- 農林水産省「農ある暮らしづくり交付金・農泊推進事業交付金」
- 一般社団法人セブンイレブン記念財団「環境市民活動助成(NPO 基盤強化助成)」
- 一般社団法人ハウジングアンドコミュニティ財団「住まいとコミュニティづくり活動助成」
- 第一生命財団「待機児童対策・保育所等助成事業」
- 日本財団「2021年度助成」
- 東京都産業労働局「保育園等による木育活動の支援事業～保育園・幼稚園等で木育を進めよう!～」
- 国立青少年教育振興機構「子ども夢基金」
- 公益社団法人国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」
- 独立行政法人福祉医療機構「WAM助成」

ハケと湧水・用水

立川市から国立市南部、さらに府中へ続くハケと呼ばれるグリーンベルト(産線)の下にはたくさんの湧水が湧き出しています。都市化による用水の暗渠化が進む中、現在も水草が茂る手掘りの水路「府中用水」は、農林水産省の疎水百選に選ばれました。



ニホンアマガエルは、絶滅危惧II類(東京都レッドリスト)、ホトケドジョウは、絶滅危惧IB類(東京都レッドリスト)、トウキョウダルマガエルは、準絶滅危惧(環境省レッドリスト)に指定されています。

周辺環境



認定こども園 国立富士見台団地 風の子

国立富士見台団地内、大きなケヤキの木がシンボルの「みなみはらっぱ」に佇む青い園舎。市役所・総合体育館・市民芸術小ホールなど、市の主要施設が集まるエリアに隣接しています。

一橋大学

大学通り

国立市役所

JR谷保駅

南武線

←立川方面

旅するがっこう

国立から飛び出して、遠くへ行く企画が満載。北海道で思いっきり雪遊び、馬との暮らし、多摩川上流で力を合わせて川下り！身近な自然から大きな自然まで、多様な体験を楽しめます。

シュノーケリング

ラフティング

北海道自然体験

川崎方面→

田畑とつながる子育て古民家 「つちのこや」

甲州街道沿いの江戸初期から続く旧家「本田家」の一角にある古民家シェアスペース「やばろじ」。この広い庭と池のある築約70年の母家の大きな和室にて、国立市地域子育て支援拠点事業「つちのこや」を運営しています。



本田家薬医門

コミュニティ菜園「みんな畑」 レンタルスペース「畑の家」

つちのこや横の路地に入ってすぐの「みんな畑」と、昭和の平屋「畑の家」。「本田家（本家）」の屋敷林と畑に囲まれた静かで落ち着いた空間です。

ゲストハウス ここたまや

「ここたまや」は、かつて地元農家の貸アパート「福寿荘」だった建物をリノベーションした学生が運営するゲストハウス。谷保地域の農業観光の拠点となっています。



新宿方面→

5つの事業所と周辺環境

東京都全体の中央に位置する国立市。街の中心を南北に大学通りがのび、JR中央線「国立駅」と南武線「谷保駅」をつないでいます。北部は一橋大学をはじめとする文教都市として知られ、南部には関東三大天神の一つに数えられる谷保天満宮や、縄文遺跡、田園地帯があります。「くにたち農園の会」の活動拠点は、南部の谷保地域を中心に市内5箇所。谷保地域には手掘りの用水が流れる田んぼと畑の風景が残り、農の営みが生き物の暮らしを支える昔ながらの循環と、現代の暮らしが共存していま



矢川緑地

←立川方面

くにたち郷土文化館

ママ下湧水

おんだし

城山公園

府中用水

谷保天満宮

田園地帯

ハケ（崖線）

くにたちはたけんぼ

畑+ハケ+田んぼ=「はたけんぼ」は、国立府中インターから1分のところにあります。農的な活動の他に、焚き火、BBQ、魚取り、ピザ、どろんこ遊びなどができ、子どもから大人まで年間7,000人以上が訪れるコミュニティ農園です。



国立府中IC方面↓

事業紹介



農園事業

農園事業代表 武藤芳暉

四季で移ろう谷保の田園。
春、種をまき、あらゆる生命が動き出し、夏は、用水路に湧水が流れ、カエルの合唱が鳴り響く。秋は黄金色の景色に包まれて、収穫を喜び、そして、冬は麦を踏み、焚火を囲う。四季折々に移ろい続ける谷保の田園風景。自然と子どもたちが駆け回り、大人たちも語り合う、この農のある空間には計り知れない価値があると信じています。



くにたち農園の会には大きく分けて2つの事業があります。1つは農園の運営を軸に、様々な農体験プログラムを提供する「農園事業」。もう1つは0~12歳児を主に対象とした教育・子育て支援活動を行う「子育て事業」です。

「育てる」から「作る」「食べる」までを一貫体験 農体験プログラム



稲作・畑体験

親子を対象とした田植え・稲刈り・収穫祭の3回の体験、大人を対象とした年間9回の「大人の田んぼ倶楽部」、小麦、夏野菜などの作付けから「いただきます」までの畑体験。餅つきやしめ縄づくりなどの稲作文化体験も。



クラフト体験・お蚕フレンズプロジェクト

綿と藍を育てて染め物、わた紡ぎ、機織りを体験する「クラフト体験」。家庭でのプチ養蚕体験を通してコミュニティ活動や、会員同士でオン&オフラインイベントを楽しむ「お蚕フレンズプロジェクト」。



この2つの事業は共に連携し、地域や行政、他の団体や企業と関わりながら活動を行なっています。ここでは、2つの事業で展開されている10の活動内容を紹介します。

各事業についての詳しい内容は、QRコードよりご覧ください



「くにたち農園の会」のホームページはこちらからどうぞ



子育て事業

子育て事業代表 佐藤有里

生まれてくる命に知り合うことが嬉しく、楽しみに、そんな人との距離が近い地域。この文化は引き継いでいきたい宝物です。温かい地域性を活かしながら、子ども達が自主的に“やってみよう”を育む場が繰り広げられています。0歳から土や空と仲良く、乳幼児期から友達との遊びが学びにつながり、田畑の空間で、新しいチャレンジの奇跡を巻き起こし、「自由さ」や「好き」が育まれています。



認定こども園 くにたち富士見台団地風の子

昭和42年設立以来50年以上続いた自治会幼児教室の保育を引き継ぎ開園。緑豊かな環境の中で保育者・保護者に見守られ35人の子どもたちが兄弟のように育っています。保育目標「思いっきり遊べる元気な子」。
対象：3~5歳児

国立市地域子育て支援拠点事業 つちのこひろば

気軽に立ち寄れる親子の居場所とし、「あそぶ・まなぶ・つながる」場を提供。わらべうたや音楽遊びの他、近隣公園での出張ひろばにて外遊びも実施。
主な対象：乳幼児親子
活動場所：つちのこや、城山公園

森のようちえん 谷保のそらっこ

子どもが育つ3つの間、「時間・空間・仲間」。一人ひとりの「間」を大切に、“楽しい”を生み出す力を育む自然遊びひろば。
対象：幼稚園児~小学生、未就園児親子
場所：くにたちはたけんぼ、及び周辺の公園など

放課後クラブ ニコニコ

畑・生き物・アートをテーマに活動。自然の中でさまざまな個性を持つ友だちとのびのび過ごすことで、自発的に遊びや学びを想像する力を身につけることを目的とした野外放課後クラブ。
対象：小学生
場所：くにたちはたけんぼ

フリースペース はたけんぼ

「安心できるつながりを、自分のペースで」家庭・学校以外に安心して過ごせる「第3の居場所」として平日の午前中、畑で活動。
対象：日中の居場所を探している方(子ども~大人)
場所：くにたちはたけんぼ

コミュニティ農園 くにたちはたけんぼ

毎年7000名以上が訪れ、「くにたち農園の会」の代名詞といえる農園。烏骨鶏と馬を飼育。用水には蛙や魚が生息し、農園・子育て両事業の重要拠点として活用。

レンタルスペース 畑の家

昭和を思わせる平屋一棟貸しのレンタルスペース。講習会やセミナー等の場として利用可能。草木染や季節野菜の調理等を行う「手しごと倶楽部」も定期開催。

コミュニティ菜園 みんな畑

レンタルスペース「畑の家」に隣接したコミュニティ菜園。農具や自家製堆肥の利用も可能なマイ区画に加えて、年間を通じて共に作業する野菜づくりプログラムも。

ゲストハウス ここたまや

昭和の趣あるアパートを改修したゲストハウス。学生団体「たまこまち」と協働し、国内・海外からの旅行者を対象に田畑とつながる宿泊・食農観光体験を提供。



「くにたち農園の会」に期待すること 国立市長 永見理夫

「くにたち農園の会」の皆様には、日頃より交流や体験の場を通して、身近な地域における子育て家庭の支えとしてご尽力いただき感謝申し上げます。
今では当たり前のように実施されているオンラインによる子育て相談も、貴会がコロナ禍当初より他機関に先駆けて導入し、子育て家庭への不安の解消に努めていただいたことは、まさにNPO法人ならではの機動力の高さの表れであったのではないのでしょうか。今後も自然を通して人と人を繋ぐ憩いの場所として、規制にとらわれない活動を期待しております。



松橋卓司さん
(株)メトロー代表
大人田んぼ参加者

大人も子どもも、素足で田植え、虫、蛙、蛇と戯れ、自分たちで育てた米を焚火で炊いて、焼き芋をかじれば、心にスペースが生まれ、大いなるものに繋がれる。笑
そんな空間を、東京に用意してくれている「くにたち農園の会」を応援しています！



和久倫也さん
WAKUWORKS(株)
代表

国立~谷保の風土に根ざしながら、地域内外の多様な世代の人々~虫や鳥、動物達との農的な活動、素晴らしいです。谷保に住み始める人、谷保に通う人が最近増えてきているように感じます。今年は僕も国立~谷保の農的な活動により参加したいと思っています。



西野耕太さん
西野農園
代表

「くにたちはたけんぼ」は、東京でも貴重な田んぼがある国立市で、親子田んぼ体験などお米作りの大切さを伝えることができる素晴らしい場所です。今後も、頑張ってください！



石村みかさん
フリースペースはたけんぼ
参加者の保護者

娘の不登校がきっかけで「くにたちはたけんぼ」と出会い、様々な企画に参加してきました。経験豊富なスタッフさん達との交流、動物や学年を超えての交流が沢山あります。彼女は心を開き自信が持てるまでに成長してきました！学校へも徐々に行き始めています。



小島ゆりさん
つちのこひろば
利用者

「つちのこひろば」に行くと、必ずスタッフが迎えてくれ、帰る時には送り出してくれます。初めての子育てで心細い中、私達を待っている人が居るといふことにどれだけ助けられたか。季節の移ろいと共に子どもの成長を見つめた時間は、私の宝物です。



望月沙知さん
認定子ども園国立富士見台団地
風の子 保護者

園の名前の通り団地の中にあらず、緑豊かな環境と地域住民の方に見守られていることを感じています。自主運営だった頃と変わらない愛情いっぱい保育、家族ぐるみの関わりの中での子育て。今も園と団地自治会の関係を大切に、自治会活動にも参加しています。



春

立春 2/4-2/18

鬼は外、福は内！
寒い冬はおうちで味噌づくり
畑では、堆肥の仕込みや
畑の寒起こしで春の準備

大寒 1/21-2/3

北風ぴゅーぴゅー
焚き火ばちばち
焼き芋、焼きもち
マシュマロ、お汁粉
美味しいもので
あたたまろう

小寒 1/5-1/20

春の七草、言えるかな？
せり、なずな、ごぎょう
はこべら、ほとけのざ
すずな、すずしろ
はたけんぼの畦で
七草を集めよう

冬至 12/21-1/4

谷保の稲わらで
しめ縄づくり
大人も子どもも
自分で作るしめ縄で
新しい1年を迎えます

大雪 12/7-12/20

大根、よいしょー！
土の中で大きくなった
大根やかぶなどの冬野菜は
今年最後の収穫期

小雪 11/22-12/6

ほかほか、ゆらゆら
かまどごはんの湯気
はたけんぼの新米を
感謝を込めて
「いただきます」

雨水 2/19-3/4

やぼろじの梅が開花
紅白のお花に
春の鳥たちが集まって
お庭はにぎやか

啓蟄 3/5-3/21

ヒキガエルの産卵
畑ではじゃがいもの作付け
春はすぐそこ！

春分 3/21-4/4

田んぼを耕運
後ろでムクドリが
土から出てくる虫を
狙っているよ

清明 4/5-4/19

子ども園にかわいい
3才さんが入園する頃、
畑ではよーいどん！で
夏野菜を作付け

穀雨 4/20-5/4

大地に注ぐ恵みの雨
スクスク育つ野菜の間から
ダルマガエルが
こんにちは

立夏 5/5-5/20

種もみを蒔いて
お米づくりのスタート！
畑ではさつまいもの植付や
よもぎ餅づくりも

小満 5/21-6/5

黄金色に実った小麦を収穫
収穫後の畑に水が入り
代かきすれば小麦畑が
田んぼに早がわり

芒種 6/6-6/21

田植えの前の田んぼで
どろまみれ！大人も
子どもも思いっきり
どろんこになって
遊びます

夏至 6/21-7/6

桑の木の葉が茂る頃
お蚕さんの飼育も
始まります
おうちでも養蚕を
楽しめます



べったん、べったん、お正月。みんなで食べるつきたてのお餅は格別



谷保の田植えは少し遅めの6月ごろ。府中用水から田んぼに水が入ります

くにたち農園の会の1年を

二十四節気で見てみよう！



いよいよ稲刈り！天日干しして、お日様の力でおいしくな〜れ



かんかん照りの太陽に青い稲穂。ひんやり冷たい用水は生き物たちの楽園

立冬 11/7-11/21

ガラガラガラ！
昔ながらの
足踏み式
脱穀に
挑戦

霜降 10/24-11/6

畑でハロウィン
かぼちゃをくり抜いて
ランタンづくり

寒露 10/8-10/23

ざっくざっくとお芋ほり
掘ったお芋は焼き芋
味噌汁、秋冬のおやつ

秋分 9/23-10/7

中秋の名月、陽が落ちる秋の空
東に昇る月をはたけんぼの
土管の上から眺めよう

白露 9/8-9/22

綿を収穫してわた紡ぎ
大根、白菜、カブなど
秋野菜の植え付け

処暑 8/23-9/7

お蚕さんの羽化
真っ白な繭から
ふわふわの
カイコが登場



冬

夏



くにたち農園の会 事業所所在地

- **くにたち はたけんぼ**
東京都国立市谷保 661
谷保駅より徒歩 15 分
- **つちのこや**（「くにたち農園の会」事務局）
東京都国立市谷保 5119 やぼろじ内
谷保駅より徒歩 7 分
☎042-505-7200
- **畑の家・みんな畑**
東京都国立市谷保 5069
谷保駅より徒歩 7 分
- **ゲストハウス ここたまや**
東京都国立市谷保 4372-1
谷保駅より徒歩 8 分
- **認定こども園 国立富士見台団地 風の子**
東京都国立市富士見台 3-7-1
谷保・矢川各駅より徒歩 10 分
☎042-507-8667



googlemap

詳細地図は
こちらから
ご覧ください

NPO法人 くにたち農園の会

東京都国立市谷保5119 やぼろじ内（事務局）

連絡先：042-505-7200

kunitachinouen@gmail.com

「くにたち農園の会 団体紹介」

発行日：2023年4月15日

制作：NPO法人くにたち農園の会

編集デザイン：atelier Mio

イラスト：川崎由紀

協力：国立市、くにたち郷土文化館



<会員募集／ご寄付について>

私たちの活動は、個人・法人の皆様のご協力によって成り立っています。「土に根差し、共に育つ、たくましい地域を次世代へ」と引き継いでいくため、ぜひご支援のほどよろしくお願いいたします。

お振込み・クレジットカード・対面での
お手続きが可能です。

詳しくは下記 URL または右 QR コード
をご覧ください。

<https://hatakenbo.org/support>

